



9月10日、11日に布津町で『東日本大震災の体験談や復興に向けた取り組み』という演題で講演した南三陸町役場危機管理課の岩淵係長、阿部さんにインタビューしました。

## 東日本大震災災害派遣レポート Vol.30

# 復興への絆



南島原市災害派遣職員 林 田 昭 義

林田(南島原市職員)

南島原市の感想を教えてください。

阿部(南三陸町職員) 南三陸町ではあまり見ない石垣が何段にも積み上げられた田畑には驚きました。また、海や山がとてもしきれいな街という印象を受けました。

岩淵(南三陸町職員)

土石流被災家屋保存公園や旧大野木場小学校を見学させていただきました。今後、南三陸町での遺構の残し方などの参考になりました。

林田 講演ではどのようなことを話したのですか。

岩淵 大津波に襲われた



講演する岩淵さん、阿部さん

当時の状況や復興状況、これからの備えなどについて話をしました。児童生徒の皆さん、保護者の皆さん、それぞれ真剣に聞いていただきました。また、震災以降、南島原市からは多大なご支援をいただき大変感謝しております。この場を借りてお礼申し上げます。

林田 今回の講演で最も伝えたかったことは、どのようなことでしょうか。

岩淵 何よりも命を大切にしたいということですね。非常時にはなんとすることも助かること。助かって、誰かと一緒に誰



真剣に聞き入る布津小・中学校の児童生徒

かを助け、支えること。そのためには、家族や先生、地域の人たちの話・教えに耳を傾け、今という繋がりを大切にしたいということですね。震災からの最たる教訓は、そのことに尽きると思います。

今回の講演は、これから起こりうるさまざまな災害に対し、備えや心構えになったのではないかと思います。お二人とも復興事業でお忙しい中ご講演ありがとうございます。



つなごう未来へ！島原半島世界ジオパーク

## ジオパークであり続けるための取り組み



島原半島世界ジオパークキャラクター「ジオくん」



島原半島世界ジオパークキャラクター「ジオちゃん」

島原半島ジオパーク協議会 ☎0957(65)5540

### ジオサイト⑧ 仁田峠の紅葉

毎月、島原半島内のジオサイトやその見どころを紹介するこのコーナー。8回目は「仁田峠の紅葉」です。

木の葉には、色のもとになる2つの物質が含まれています。1つは緑色のクロロフィル、もう1つは黄色のカロテノイド(カロチン)です。

通常は、カロテノイドよりクロロフィルの方が多く含まれているので、葉は緑色をしています。ところが、秋になり、気温が下がってくると、緑色のクロロフィルが分解されて量が減り、隠れていたカロテノイドが目立つようになるため、葉は黄色くなります。カエデの一部やイチョウの葉が黄色くなるのはこのためです。

一方、気温が下がってくると、樹木は葉から余分な水分の蒸散を防ぐために、葉の付け根を締め、木の幹と葉との養分の行き来を断ち切ります。すると、それまで光合成によって葉の中に蓄えられていた樹木のエネルギー分(糖分)と、葉の中にあるタンパク質(アミノ酸)がくっついて、アントシアニンという物質ができます。これは熟したリンゴやブドウなどに含まれる赤や紫の色素で、太陽光に当たる場所ほどアントシアニンがたくさん作られることから、日当たりのよい枝の葉はきれいに赤く染まります。



雲仙ロープウェイ

紅葉する木はまとめて落葉樹と呼ばれるのに対し、一年中緑色の葉を付けている木は常緑樹と呼ばれます。標高約1,000メートルの仁田峠周辺は、カエデやヤマボウシなどの落葉樹と、モミやツガなどの常緑樹が混在しているため、多種多様な植物が生息しています。これら多様な植物が生息しているからこそ、毎年秋には赤、黄、緑に彩られた美しい紅葉を楽しむことができるのです。この紅葉は、雲仙火山の噴火が創り上げた絶妙な自然環境が私たちにくれた贈り物といえるでしょう。

今年も国の天然記念物に指定されている「普賢岳紅葉樹林」を見に、仁田峠に出かけてみませんか？

今回は「島原半島が生まれた場所・早崎半島」を紹介します。

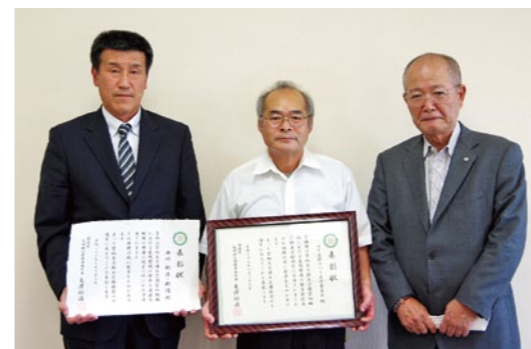
緊急告知

### 世界認定された「阿蘇ジオパーク」を楽しむジオツアー



- 12月7日(日) 午前8時集合、午後7時30分解散
- 集合・解散場所：島原市役所 海側駐車場
- 40人
- 大人3,500円／小学生2,000円／3歳以上の幼児1,000円 (集合場所からの交通費・昼食代・ガイド料・保険料込)
- ※昼食はバイキングもしくは、あか牛ランチのどちらかを選択可。
- 11月21日(金)
- 島原半島ジオパーク協議会 ☎0957(65)5540

### 雲仙80周年・ジオ5周年記念式典で表彰



写真左：西川 利隆さん／写真中央：居原 重久さん

8月23日に開催された国立公園「雲仙」指定80周年および島原半島世界ジオパーク認定5周年記念式典において、功労者として環境省九州地方環境事務所長表彰を受賞された、みそ五郎まつり実行委員会の居原重久会長と西川利隆さん(有家町)が市役所を表敬訪問しました。

みそ五郎まつり実行委員会は山麓地域(公園外)における魅力発信に貢献した点、(故)西川利彦さん・利隆さんは俵石展望所を親子二代にわたり献身的に管理された点がそれぞれ評価されての受賞となりました。

おめでとうございます。